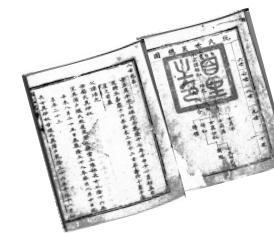


家譜



家譜の巻頭の世系図（右上）にある『首里之印』



家譜は縦29センチ、横20センチ内外の和装本となっており、各人の記録を記している本文は漢文が中心です。
※公文書館での家譜資料の所蔵点数は、ごくわずかです。



沖縄県公文書館
Okinawa Prefectural Archives

PATH FINDERとは？

パスファインダーは「道案内」を意味します。
ある特定のトピック（主題）や資料群に関する情報を分かりやすくまとめたツールです。

《パスファインダー一覧》

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 飲食店マップ | 16. 立法院会議録 |
| 2. 地籍調査 関係資料 | 17. 軽便鉄道 |
| 3. 家譜 | 18. 沖縄移民 関係資料 |
| 4. 市内バス案内 | 19. 宮森小学校ジェット機墜落事故 |
| 5. 新聞資料 | 20. アーカイブズと著作権 |
| 6. 軍雇用員カード | 21. 沖縄国際海洋博覧会関係資料 |
| 7. 空中写真 | 22. 毒ガス移送 関係資料 |
| 8. 写真資料 | 23. 10.10 空襲 |
| 9. 沖縄戦 関係資料 | 24. 見学受付 |
| 10. 閲覧室へようこそ | 25. 資料検索のコツ |
| 11. はじめての公文書館 | 26. 通貨交換 |
| 12. 小・中学生の皆さまへ | |
| 13. 米国収集資料 | (令和5年4月30日現在) |
| 14. USCAR 文書 | |
| 15. 対米国民政府往復文書 | |



かわいいことは
閲覧スタッフまで♪



沖縄県公文書館 閲覧室
[9:00-17:00 休館日:月曜・祝日]
※閲覧申請の受付は16:30迄

〒901-1105
沖縄県南風原町字新川148-3

TEL :098-888-3871
FAX :098-888-3874
Email :reference@archives.pref.okinawa.jp

STEP 2 『氏集 那覇首里』



首里王府の系図座に保管されていた家譜の総目録とされる「氏集」が台湾大学研究図書館で見つかりました。
本書は「氏集」の筆写本を翻刻しています。首里・那覇・久米のみであり、先島・久米島系は含まれていません。

氏名、名乗頭、元祖・系祖が分かれば、家譜が現存するかどうかわかります。

『氏集』の氏集番号の上部に記載されている以下の記号から家譜が現存するかどうかわかります。

- なし 存在が確認できていないもの
- ★ 家譜原本の複製本
- ☆ 家譜写本の複製本
- △ 家譜組立や読み下し本、編集本または部分などの複製本
- * 不明や疑問点があるもの

STEP 3 那覇市歴史博物館

県内で最も家譜が充実しているのは、パレットくもじ4Fにある那覇市歴史博物館です。約950点の家譜を所蔵し、閲覧に供しています。ホームページで検索できます。

同館所蔵の家譜は、『那覇市史 資料篇』第1巻1、5～8に一部が収録されています。

那覇市久茂地1丁目1番1号 パレットくもじ4階
☎ 098-869-5266 ※電話での御予約が必要です。

◆ レファレンスサービスの利用時間 ◆

- 月曜日・火曜日・水曜日・金曜日
午前10時～正午、午後1時～午後5時
- 休館日(木曜日)、土・日曜日、祝日、臨時休館
ご利用できません。

家譜についてのQ&A

Q1. 家系を調べたいのですが…

Q. 戸籍簿はありますか？

戦前の戸籍簿は沖縄戦でほとんど消失してしまいました。また、戸籍簿は基本的に県ではなく市町村が管理することになっているため、県公文書館ではほとんど所蔵していません。

Q. 琉球王府時代にさかのぼって家系を調べられることはできますか？

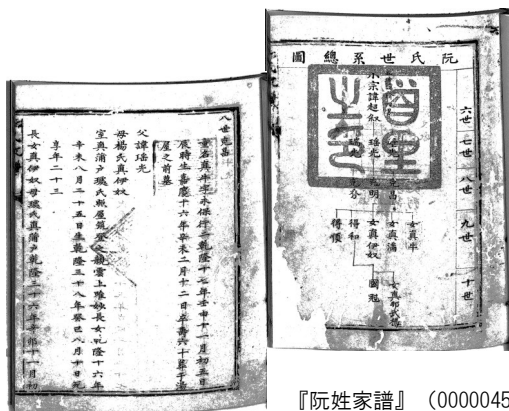
士族の家系であれば、「家譜」（系図）が残っている可能性があります。

Q2. 家譜とは？

「系図」とも呼ばれ、家系に関する記録です。公文書としての「家譜」は、士族のみに記録と所有が許されました。

首里王府は、1689年、王府内に「系図座」を設置し、士族に家譜を作らせた。2部ずつ作られた家譜は、一部は王府に、もう一部は「首里之印」（表紙参照）を押して各家に保管させました。家譜は5年毎に新事項の追加が義務付けられました。

家譜は、その本籍地により、①本島系（首里、那覇・泊、久米）、②先島系（宮古・八重山系）、③久米島系*に分かれます。（*久米島系は士族ではなかったため、王府の認可はありませんでした。）



『阮姓家譜』 (0000045554)

Q3. 家譜はすべて残っていますか？

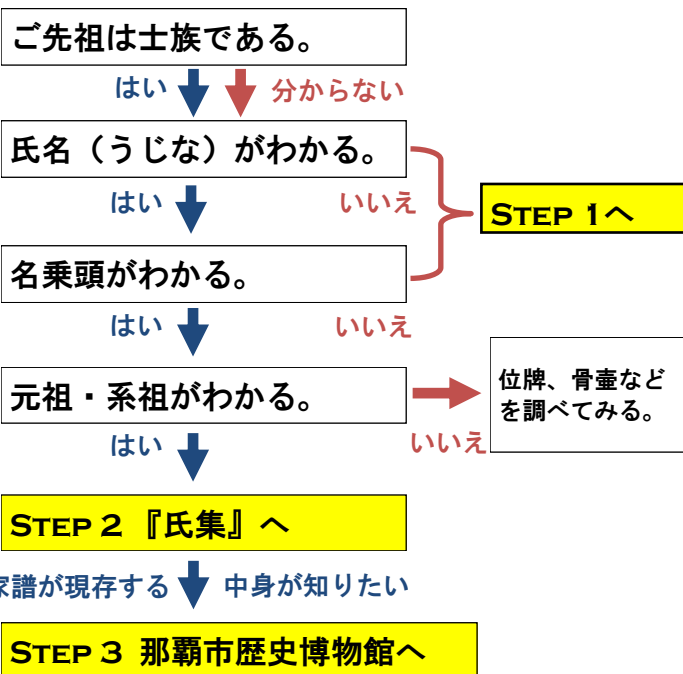
沖縄本島系の家譜は本来、2800余冊あったことがわかっていますが、2015年現在で存在が確認されているのは、宮古・八重山を含めて約950冊です。大半はまだ確認されておらず、多くは沖縄戦で失われたといわれています。

Q4. 家譜から何が分かるの？

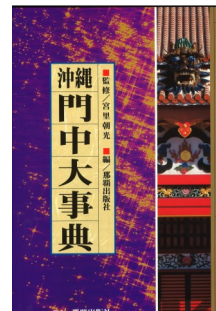
各家の父系血族と各人の経歴等がわかります。その家の系祖以来の父系血族継承を示す世系図に始まり、本文には各人ごとに名前、生没年、血縁関係、元服、結婚、士官叙位等の経歴が年月順に記録されています。

Q5. 家の家譜が残っているかどうか調べることはできますか？

次のステップに沿って調べていけば家譜が残っているかどうかわかります。



STEP 1 『沖縄 門中大事典』



家譜を探すために必要な「名乗頭」「氏名」「元祖名」等の表があり、家名（現在の名字）からも探ることが出来るので、初めての人におススメです。

① 家名から氏名・名乗頭を調べる p. 441

現在の家名から氏名（うじな・うじめい）を調べることができます。氏名とは琉球人の中国風の名前（唐名）の名字で、「尚」「向」「麻」「毛」などの一文字です。

ただし、現在は同じ家名を持つ家でも先祖つまり氏名が異なる場合があります。自分の家がどの氏だったかを特定する決め手は名乗頭（なのりがしら）です。名乗頭は名前の最初の一字で、氏ごとに漢字が決まっています。例えば、屋良朝苗、屋良朝雄のように「朝」という文字がついています。（*久米系は名乗り頭を持たず、「諱」（いみな）で統一されています。）

② 氏名・名乗頭から元祖を調べる p. 302

氏名・名乗頭が分かれば、その家を興した元祖がわかります。元祖は『氏集』で家譜の有無を確認するためにも必要です。

③ 氏名・家名から系祖を調べる p. 376

家譜は元祖の家だけではなく、元祖から分家した家ごとにも作られていました。元祖から最初に分家した人を系祖といい、『氏集』で家譜の有無を確認するためにも必要です。

◆ 現存する家譜についての情報 ◆

沖縄県教育文化課編『沖縄県文化財調査報告書第90集 沖縄の家譜 歴史資料調査報告書4』（1989年） 資料コード：G00014396B

調査時に現存した沖縄の家譜について、それぞれに氏集番号・保管者・系分類・外題・内題・系祖・内容等の記載があります。本島系、先島系が載っています。家譜が存在すると分かった後に見るとよいでしょう。